

(株)市川工務店

岐阜市・建設業

平成27年度
認定

長年、働きやすい職場づくりに取り組み、女性の中には出産後に育休を取得して復帰するのが当然という社風が育まれている。女性のキャリアアップも支援し、女性技術者の育成にも力を注ぐ。

従業員数/男性292名 女性41名 計333名 ※平成31年1月1日現在

環境改善で女性の活躍推進

男性中心の建設業界において、早くから子育てと仕事を両立できる社風構築に努めてきた市川工務店。社員の1割を占める女性職員は、ここ10年間で、出産・育児理由の退職者はいない。「育休を取って復

帰する先輩が多く、復職しやすいかった」と語るのは、復帰後、時短で働く白井玲奈さん。「子どもの急病時などには、周りが気遣って仕事を抜けさせてくれる。働きやすい職場に戻れてありがたい」と、笑顔を見せる。2016年からは、育児休業取得者の会を開き、悩みなどを共有する場も設定。アットホームな雰囲気に加え、扶養手当とは別に子どもの出生から高校入学まで、イベントごとに総額30万円の一時金を支給するなど、支援制度も手厚い。

また15年には、女性技術者の会「けんけんば」を立ち上げた。これまでも建設現場の女性専用トイレや更衣室の確保などを進めてきたが、さらなる働きやすさやキャリアアップに向けて、女性技術者7人が検討を行う。「女性の技術者はまだ少ないが、長く勤められる環

境をつくり、ステップアップしていきたい」と小澤身友希会長。
総務部の久留宮裕司部長は「より多くの女性技術者を積極的に迎えるためにも、気持ちよく働ける環境を整備していきたい」と意欲を見せる。



女性目線の改善提案を目指す、女性技術者の会「けんけんば」。「この会を始めて、自分の働き方について、より深く考えるようになった」とメンバーは話す。



「またここで働きたいという気持ちを受け止めてもらったのが、うれしかった」と話す白井玲奈さんは、2児を出産後、育休を経て短時間勤務で復帰。